

ユーザをインポートした Unity Connection AXL および LDAP

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[インポート ユーザ](#)

[インポートされた使用の種類を識別して下さい](#)

[AXL によってインポートされるユーザ](#)

[非AXL インポートされたユーザ](#)

[LDAP によってインポートされるユーザ](#)

[非 LDAP によってインポートされるユーザ](#)

[参考資料](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に Cisco Unity Connection の Command Line Interface (CLI) コマンドの使用のインポートされたユーザの種類を識別する方法を記述されています。

Unity 接続では、ユーザは 2 つのソースから - Cisco Unified Communications Manager (CUCM) および Active Directory (AD) インポートすることができます。CUCM からインポートされるユーザは管理上の XML (AXL) インポートされたユーザとして知られています。アクティブ ディレクトリからインポートされるユーザは Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) によってインポートされるユーザとして知られています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unity Connection
- Cisco Unified Communications Manager
- Microsoft Active Directory

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unity Connection リリース 7.x またはそれ以降
- Cisco Unified Communications Manager リリース 7.x またはそれ以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

ユーザをインポートして下さい

AXL ユーザである場合、[Cisco Unified Communications Manager ユーザからの複数の Cisco Unity Connection 8.x ユーザアカウントを作成することを参照して下さい](#)。

LDAP ユーザである場合、[LDAP ユーザのデータからのユーザアカウントを作成するか、または Cisco Unity Connection 8.x の既存のユーザ向けの LDAP 統合ステータスの変更を参照して下さい](#)。

インポートされた使用の種類を識別して下さい

インポートされたユーザの種類を識別するために、CLI でこれらのコマンドを入力して下さい：

AXL によってインポートされるユーザ

```
run cuc dbquery unitydirdb select displayname, dtmfaccessid, ccmid, ccmidtype from vw_subscriber
where
ccmid is not null
```

非AXL インポートされたユーザ

```
run cuc dbquery unitydirdb select displayname, dtmfaccessid, ccmid, ccmidtype from vw_subscriber
where
ccmid is null
```

LDAP によってインポートされるユーザ

```
run cuc dbquery unitydirdb select displayname, dtmfaccessid, ldapccmuserid, ldapttype,
ldapccmpkid from
vw_subscriber where ldapccmpkid is not null
```

非 LDAP によってインポートされるユーザ

```
run cuc dbquery unitydirdb select displayname, dtmfaccessid, ldapccmuserid, ldapttype,
ldapccmpkid from
vw_subscriber where ldapccmpkid is null
```

vw_subscriber は音声メール サブスクリプションがあるすべてのユーザが含まれています。ユーザ情報および関連する音声メール情報が含まれています。含まれます少数の有用なカラム名は次のとおりです:

- firstname
- lastname
- エイリアス
- emailaddress

例 :

```
run cuc dbquery unitydirdb select firstname, lastname, alias from vw_subscriber
```

前のセクションに示すように例に LDAP/非 LDAP/AXL/非AXL ユーザのようなユーザ型仕様情報を得るためにところで句を含めて下さい。

vw_subscriber のすべてのカラムのリストを入手するために、入力して下さい:

```
show cuc dbview schema unitydirdb vw_subscriber
```

参考資料

Ccmidtype

- 0 -インポートされる CCM エンド ユーザー、別名 AXL
- 3 - LDAP ユーザ
- 4 -非アクティブ LDAP ユーザ; たとえば、ccm データベースのマーク付き非アクティブ

Ldapccmpkid

Ldapccmpkid がヌルではない場合、ユーザは統合 LDAP です。

Ldapttype

- 0 -ユーザは有効になる LDAP ではありません
- 1 -有効になる LDAP 同期
- 2 -有効になる LDAP 認証
- 3 - LDAP は、ユーザ向けに一時的に非アクティブ 有効になります

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)